

—はじめに—

川崎市議会においては、4年に一度の間隔で議員を海外視察に派遣して行政や市政に関する事項の視察調査を行ってきた。しかしながらコロナ禍での延期により8年ぶりの派遣となった。また事前に海外視察あり方検討プロジェクトを設置して要領等を見直し、その後に海外視察実施検討プロジェクトを立ち上げ、視察先やテーマ等を決定した。海外視察の実施にあたっては、アジア・オセアニア・ヨーロッパの3班体制とし、我々オセアニア視察団はオーストラリア・ニュージーランドで、環境・エネルギー施策、多文化共生社会、社会福祉等についての視察を実施した。近年は加速度的に経済状況や社会構造が変わり、多文化共生・少子高齢化対策・持続可能社会の構築など待ったなしの川崎市において移民を多く受け入れる視察先の国々の政策と現状はインパクトの強いものであった。

事前に勉強会を重ねて知識を得た上での視察であったが、現地の状況や現場の運営者・為政者の知見は衝撃的ともいえる部分があった。

詳細は項目別に報告書に記載の通りであるが、視察を通じて得

た経験を基に川崎市の諸施策に良い形で反映出来るように議論を深めていきたい。

結びに、視察の事前学習としてご協力いただいた駐日ニュージーランド大使と大使館職員の皆様、クイーンズランド州駐日代表の安達健様、並びに視察を受け入れていただいたウーロンゴン市タニア・ブラウン市長、各総領事をはじめ公民其々にご教授頂いた皆様に感謝申し上げます。

各都市と川崎市の更なる絆が強力となり、更なる繁栄に結び付く様に努力してまいらる。

川崎市議会オセアニア視察団 団長 浅野文直